

授業の基本的な流れ（主に単元の終末段階）

1. あいさつ	
2. チャンツ・歌・ゲーム	
3. めあての確認	<p>授業の前半で、テンポよく、たくさん活動し、心も体も English モードへ！ ※単元の前半は、チャンツ・歌・ゲームなどの時間を長めに設定しています。</p>
4. デモンストレーション	 <p>主活動（ゴールの活動）のデモンストレーション。どんな表現を使ったか、大切なポイントは何かを児童に考えさせるようにします。</p>
5. 練習 （全体、ペア、個人）	 <p>教師対全体、ペアや個人など様々な形態で行います。主活動で自信をもってやり取りするためにも、実態の把握が大切です。</p>
6. コミュニケーション タイム （前半）	 <p>伝える側、聞く側と列ごとに役割を固定して行うことが多いです。役割を固定することで、誰が何をしているか把握しやすくなります。</p>
7. 中間評価 （主活動の間に行う形成的評価のこと）	 <p>モデルとなる児童を取り上げて全体の前で見せたり、不十分な所を確認したりします。評価の観点を念頭に、質の高いコミュニケーションを計るためのポイントを焦点化することが大切です。</p>
8. コミュニケーション タイム （後半）	 <p>自由に動き回るなど、形態は様々です。友だちのよかったところから学んで自分の学びを改善できるので、前半のコミュニケーションよりも深まりがでます。</p>
9. 振り返り	<div data-bbox="582 1794 869 2002" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ふりかえりのしてん】</p> <p>①わかったこと・できるようになったこと</p> <p>②友だちから学んだこと</p> <p>③つぎに、がんばりたいこと</p>  </div> <p>他教科とも関連した振り返りの視点です。常に単元のゴールを意識させることで、何ができるようになったか、次に何をがんばりたいか、振り返ることができます。</p>